



# 学校便り

佐渡市立金井小学校 令和3年7月21日 第5号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E mail : kanai-es@sado.ed.jp

## コロナ禍2度目の夏休み

校長 山田 裕之

7月中、児童玄関に短冊が飾られていました。「七夕にちなんだ願いごとを書こう」という総務委員会の企画によるものです。小学生らしいメッセージがたくさんある中、感染症の収束に関する願いごとが、1年生から6年生まですべての学年で44枚も書かれていました。1年以上続く『新しい生活様式』によってがまんを強いられていることやできないことが子どもたちの心に及ぼしている影響を改めて感じました。

### <一部抜粋>

- ・コロナがはやくおわって、じいじとばあばにあえますように。
- ・水泳きょうしつができないから、はやくコロナをなくしてください。
- ・コロナにかからずけんこうでいたい。
- ・はやくコロナがなくなり、さどがへいわになりますように。



さて、明日から夏休みです。昨年度は、臨時休校があったため短縮されてしまいましたが、今年はオリンピック・パラリンピック開催に伴い、ほんの少し長い休みとなっています。昨年に引き続きコロナ禍の夏休みということで、できないこと、気を付けなければならないことなど制約が多いことは同様ですが、できないことを嘆くのではなく、できることを積極的に見つけ、チャレンジしてほしいと願っています。

今日の終業式で、私から全校の子どもたちに次の2つの宿題を出しました。そして、全員が必ずやってくるように話しました。

＝ 校長先生からの宿題 ＝

- ① 死なないこと
- ② 事故にあわないこと



「なんだ、簡単だ…」と思った子どもがいたかもしれません。しかし、それは大きな間違いであることを併せて伝えました。大変残念なことではありますが、毎年、日本のどこかで、夏休みに小学生が不幸な事故に巻き込まれています。命を落とすこともあります。金井小学校の子どもたちにそのようなことが起きないことを願います。

2学期の始業式を全員が「生きて」「元気で」迎えられることを、心から祈っています。